



三川っ子だより

No.3

巨大地震に備える

5月19日（月）は引き渡し訓練への御協力ありがとうございました。当日は、2～6年生が昼食時に災害用非常食の試食を、5年生が三川在住の防災士、高橋さん指導による非常持ち出し袋の点検や避難所生活についての講話を、全校で巨大地震の発生を想定した避難訓練をそれぞれ行い、防災について考える一日となりました。今後、巨大地震が発生しないことを願うばかりですが、万が一に備えて、私たちもしっかり準備しておく必要があります。御家庭でも「命を守る行動」について話題にいただければと思います。

先日の引き渡し訓練では「児童が在校している時に地震が発生した場合」を想定しました。そのような場合、学校の対応としては以下のように進めていきます。

児童在校時に大地震が発生したら・・・

- ① 児童、職員は命を守るための1次避難（安全な場所で1次的に身を守る避難など）
- ② 避難経路の安全を確認後2次避難（運動場に避難）し、人員の点呼・確認
- ③ コドモンとHPによる「児童の安否情報」の発信
- ④ 防災支部と連携し、地域の被害や道路状況の把握
- ⑤ コドモンとHPによる「引き渡し時間と場所」の発信
- ⑥ 「引き渡し準備」と3次避難（安全な校舎内に避難）
- ⑦ 保護者への「引き渡し」
- ⑧ コドモンとHPによる「学校の休校・再開」の情報発信

①～③は地震発生後、速やかに行います。⑦「引き渡し」が全員完了するまでには相当な時間を要することが予想されます。場合によっては、児童が一夜を学校で過ごすことも考えられ、こうした事態に備え、非常食の備蓄を始めた次第です。5月12日の便りでお知らせした通り、新しい非常食の回収を行います。（5月30日締め切り）便りの「非常食選定の留意点」にあります。が、「水や湯がなくてもそのまま食べられるもの」を選ぶようお願いします。なお裏面には、非常食を試食した際の児童の感想も掲載したので、参考にしてください。

今回の引き渡し訓練は、悪天候や炎天下でも安全に待機できる場所が必要であることを考慮し、体育館での引き渡しを行いました。しかし、巨大地震が発生した場合には、校舎内や体育館が安全とは限らず、どこで待機するかも課題となります。このような想定外の状況が発生した場合でも、状況に応じて、子供たちの安全を最優先に、臨機応変に対応していきたいと思っています。



非常食を食べてみた！（アンケート結果から）

食べた感想はどうでしたか。

- ・どれもおいしい物ばかりだった。同じ物を家でもストックしておきたい。
- ・持ってきた物は、ぱさぱさしていて口が乾きました。
- ・温かくないから、普段よりおいしくないと感じた物もあった。
- ・甘いお菓子ばかりだったので体によくないと思った。
- ・ちょうどよい量だった。
- ・おいしくなくて量も多かったので残してしまった。
- ・いろいろな種類の物を少しずつ持ってきた方が飽きなくてよいと思う。
- ・しょっぱい物もほしかった。

友達のものでよいと思った物は

- ・カレー
- ・肉じゃが
- ・おかゆ
- ・パン
- ・やきとり など

以下のポイントを参考に親子で一緒に選べるとよいですね。

- ・食べ慣れた味を優先
- ・開けてそのまま食べられる
- ・栄養バランス など



家には非常食が準備されていますか

学年	はい	いいえ	知らない
2年生	24%	16%	60%
3年生	30%	0%	70%
4年生	40%	5%	55%
5年生	75%	4%	21%
6年生	56%	7%	37%

低学年ほど、「知らない」の割合が高いのは当然のことですが、低学年でも、家庭での備蓄の状況を知っている子供がいます。次の回収に向けて非常食を購入する際は、親子で話し合ったり、一緒に買い物に行ったりすることで、防災に対する意識も高まると思います。

この学習でわかったこと

- ・非常食はいろいろな種類があるとわかった。いつ災害が起きてもいいように日頃から味を知っておくことが大切だと思った。
- ・大きな災害が起きた場合には、生き残れるかどうかの瀬戸際に立たされる可能性があるため、食べ物好き嫌いも言えない気がする。厳しい状況でも生き抜くためには、しっかりした準備と、強い心が必要だと思う。
- ・非常食は食べ慣れている物、食べておいしかった物を入れるともっとよくなる。今日のことを生かして家の非常食を見直していきたい。

今回、食前に水や湯を入れなければならない物を持参した児童の中には、自力で準備できなかったり、水分が多くなったことにより食べきれず、持ち帰りにも苦労したりする姿が見られました。非常時には、教員によるきめ細かい指導が行き届かないことが想定されますので、「開けてそのまま食べられる物」を選定していただきますようお願いします。

次回の回収に向けた準備と同時に、家庭用の非常食の備蓄も是非進めてください。ローリングストック（日常生活で消費しながらの備蓄。使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法）の考えに基づいた備蓄が重要と言われていますので、実践してみるとよいかもしれません。